

平成19年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成19年4月18日	記入者		連絡先	780-1403
平成18年度部名	企画部	課名	津久井町地域振興課	課長名	天野 眞一
平成19年度部名	市民活力推進部	課名	津久井町地域自治区事務所	課長名	天野 眞一
事務事業名	津久井町自治区自主防災組織育成支援事業				
予算上の事務事業名	自主防災組織育成支援事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23120		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				
施策名	第2施策 防災対策の強化				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> 相模原市津久井町自主防災組織活動費補助金交付要綱 相模原市津久井町自主防災資機材整備費補助金交付要綱 				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市地域防災計画 (旧津久井町地域防災計画)		市域並びに市民の安全を災害から確保するため、災害に強いまちづくりの実現を目指し、災害対策に必要な施策等を計画したものの。		
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	対策	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
自主防災組織の育成と防災体制の充実を図るため				(2) 対象(誰、何)	
				自主防災組織 (自治会)	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
自主防災組織活動費補助金助成 補助内容・・・世帯割 世帯数×50円 均等割 10,000円 各地区メイン会場加算 15,000円 交付団体数・・・59組織 自主防災組織資機材整備費補助金助成 補助内容・・・購入金額の2/3の額(1,000円未満切捨て) 交付団体数・・・43組織 自主防災組織リーダー研修会 年1回(6月) 県総合防災センターにて実施。 参加者数・・・22名					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	旧市域においては、防災計画課が自主防災組織活動事業費補助金助成を行っている。 他自治体も同様な目的で実施している。				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	4,170	4,370	4,370
一般財源	0	0	4,170	4,370	4,370
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	2,013	2,013	2,013
事業コスト合計	0	0	6,183	6,383	6,383
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	自主防災組織活動助成金事業			対象名称 と単位	自主防災組織(団体)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	4,093	4,200	4,200
対 象 数	0	0	59	59	59
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	69,373	71,186	71,186
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.03	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	自主防災組織における防災訓練実施回数（回）	指標式と指標の説明	訓練実施回数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	59.0		
目標	0.0	0.0	59.0	59.0	59.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	防災訓練を実施した自主防災組織数の割合（％）	指標式と指標の説明	訓練実施回数 / 自主防災組織数 × 100 自主防災組織数に対する訓練実施数の割合		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	100.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		「自分たちのまちは自分たちで守る」という災害時に有効に活動できるような組織の充実強化を図る必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
地域防災力の向上を目的とした防災訓練の実施を推進するため、訓練に対する補助金制度を設け、また、防災資機材の充実を図る。			現在59の自主防災組織が設置されているが、今後は、地域連合自主防災組織の設置を進めていく必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		地域防災計画の見直しの中で、検討を図ること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			